

2023年11月1日
株式会社トーモク
ESG推進室

食べられる新聞「昆布新聞」* で北海道をコブする

株式会社トーモクは、北海道の特産物である昆布を使用した食べられる新聞、「昆布新聞」*で北海道を包み、さらに鼓舞します。

「昆布新聞」*は、北海道新聞社が80周年記念として、生産量日本一を誇る北海道の昆布をそのまま使用し、「北海道をコブしたい」をテーマに北海道の活気づけを意図した企画です。

北海道を発祥の地とする当社は、さらに「北海道をコブしたい」、「昆布のように粘りのある技術力・営業力でお客様の思いを吸い上げたい」という思いから北海道新聞社の企画に賛同しました。

北海道の重要な水産産業で、その水産資源の一つである函館真昆布を使用することは、当社が選定したSDGsマテリアリティの一つである「地域コミュニティの発展」に繋がります。また、11月1日付発行の北海道新聞社朝刊にも全面広告を打ち出し、北海道をさらに活気づけます。

*北海道新聞社が開発した、史上初の読んでも食べてもためになる新聞。函館真昆布を使用し、卵殻由来の可食インクで出力したことで食べられる新聞を実現した。適したサイズ(A4相当)の確保と印刷が困難であったが、一度水分を添加してから、印刷、乾燥を行う昆布専用の技法を新たに開発することにより発行が可能となった。





北海道を包み鼓舞。



北海道で生まれ育った **株式会社トーモク**

人々が大切にしているものをやさしく「つつみ」「つなぎ」、心豊かな未来を実現する

「包む」は、誰の手が大切に育てられたものか、守り、守るに思いのこもる行動で、日本人が大切にしている文化です。北海道新聞の「マナグループ」は、その「包む」の精神の中心に置き、地域社会をベースとして、環境にもやさしく、お客様の大切な商品の「品質」を包み、消費者の皆様にとって「暮らし」を包み、人々の暮らしを「暮らし」を包み、それを安全につなぐ「暮らし」、心豊かな未来を実現します。

環境や社会にやさしく、ビジネスと暮らしを包み、安全にお届けする

「品質・価値」を包む

段ボール・紙箱事業

製品、販売、品質向上の多岐にわたる事業を展開。長年、顧客の信頼と支持を得ています。一歩を踏み出し、新しい事業の展開に力を入れています。お客様のニーズに応じ、最適なソリューションを提供します。

「暮らし」を包む

住宅事業

住宅のライフサイクルは、新築・リフォーム・メンテナンス。これらすべての段階で、お客様のニーズに応じ、最適なソリューションを提供します。

「安全」に届ける

運輸倉庫事業

多くの企業様との取引から、お客様のニーズに応じ、最適なソリューションを提供します。